2025年の健康保険――その歴史と現在、そして未来へ向けて

講　座　概　要

「いつでも・どこでも・だれでも」必要な治療が受けられる日本の健康保険は「国民皆保険制度」と言われ、世界でも珍しいほど「医療を受ける権利」を平等に保障してくれています。その一方で、健康保険に加入している私たちのほとんどが、制度の仕組みや医療費のやりくりがどうなっているのかを知りません。この講座では、健康保険制度が「国民皆保険制度」になる経緯を簡単に踏まえ、健康保険制度の現状と今後の展望について「お金の話」を中心に、わかりやすく説明します。健康保険制度の「これまでの歴史」と「現在の状況」、そして「これからの課題」を知ることで、日本の健康保険制度を守るために私たちにできることを考えるきっかけにしていただけると幸いです。

実施責任者：医学系研究科　講師　森　禎徳

日程		講義内容	講師
8月 2日 （土）	9：50 ～ 10：40	**【健康保険の歴史】** 富国強兵政策の一つとして生まれた健康保険制度がどのようにして社会保障制度の基盤となったのか、「国民皆保険」とは何か、そして高齢者保険の創設に至る流れについてお話します。	群馬大学大学院 医学系研究科 医学哲学・倫理学講座 講師　森 禎徳
	10：50 ～ 12：00	**【健康保険の現状と未来への課題】** コロナ前とコロナ後の健康保険の財政状況を比較しながら、「団塊の世代」がすべて後期高齢者になる2025年を迎えた今、健康保険の未来に向けて何が必要なのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	